歴代誌第一 16

31契約の箱を安置したのち、ダビデが主の宮で歌をうたう事をつかさどらせた人々は次のとおりである。
32彼らは会見の幕屋の前で歌をもって仕えたが、ソロモンがエルサレムに主の宮を建ててからは、一定の秩序に従って務を行った。
33その務をしたもの、およびその子らは次のとおりである。コハテびとの子らのうちヘマンは歌をうたう者、
ヘマンはヨエルの子、ヨエルはサムエルの子、
34サムエルはエルカナの子、エルカナはエロハムの子、エロハムはエリエルの子、エリエルはトアの子、
35トアはゾフの子、ゾフはエルカナの子、エルカナはマハテの子、マハテはアマサイの子、
36アマサイはエルカナの子、エルカナはヨエルの子、ヨエルはアザリヤの子、アザリヤはゼパニヤの子、
37ゼパニヤはタハテの子、タハテはアシルの子、アシルはエビアサフの子、エビアサフはコラの子、
38コラはイヅハルの子、イヅハルはコハテの子、コハテはレビの子、レビはイスラエルの子である。
39ヘマンの兄弟アサフはヘマンの右に立った。アサフはベレキヤの子、ベレキヤはシメアの子、
40シメアはミカエルの子、ミカエルはバアセヤの子、バアセヤはマルキヤの子、
41マルキヤはエテニの子、エテニはゼラの子、ゼラはアダヤの子、
42アダヤはエタンの子、エタンはジンマの子、ジンマはシメイの子、
43シメイはヤハテの子、ヤハテはゲルションの子、ゲルションはレビの子である。
44また彼らの兄弟であるメラリの子らが左に立った。そのうちのエタンはキシの子、キシはアブデの子、アブデはマルクの子、
45マルクはハシャビヤの子、ハシャビヤはアマジヤの子、アマジヤはヒルキヤの子、
46ヒルキヤはアムジの子、アムジはバニの子、バニはセメルの子、
47セメルはマヘリの子、マヘリはムシの子、ムシはメラリの子、メラリはレビの子である。
48彼らの兄弟であるレビびとたちは、神の宮の幕屋のもろもろの務に任じられた。

歴代誌第一 9

1このようにすべてのイスラエルびとは系図によって数えられた。これらはイスラエルの列王紀にしるされている。ユダはその不信のゆえにバビロンに捕囚となった。
2その領地の町々に最初に住んだものはイスラエルびと、祭司、レビびとおよび宮に仕えるしもべたちであった。

歴代誌第一 9

14レビびとのうちではハシュブの子シマヤ、ハシュブはアズリカムの子、アズリカムはハシャビヤの子で、これらはメラリの子孫である。
15またバクバッカル、ヘレシ、ガラル、およびアサフの子ジクリの子であるミカの子マッタニヤ、
16ならびにエドトンの子ガラルの子であるシマヤの子オバデヤおよびエルカナの子であるアサの子ベレキヤ、エルカナはネトパびとの村里に住んだ者である。
17門を守るものはシャルム、アックブ、タルモン、アヒマンおよびその兄弟たちで、シャルムはその長であった。
18彼は今日まで東の方にある王の門を守っている。これらはレビの子孫で営の門を守る者である。
19コラの子エビヤサフの子であるコレの子シャルムおよびその氏族の兄弟たちなどのコラびとは幕屋のもろもろの門を守る務をつかさどった。その先祖たちは主の営をつかさどり、その入口を守る者であった。
20エレアザルの子ピネハスが、むかし彼らのつかさであった。主は彼とともにおられた。
21メシレミヤの子ゼカリヤは会見の幕屋の門を守る者であった。
22これらは皆選ばれて門を守る者で、合わせて二百十二人あった。彼らはその村々で系図によって数えられた者で、ダビデと先見者サムエルが彼らを職に任じたのである。
23こうして彼らとその子孫は監守人として、主の家である幕屋の家の門をつかさどった。
24門を守る者は東西南北の四方にいた。
25またその村々にいる兄弟たちは七日ごとに代り、来て彼らを助けた。
26門を守る者の長である四人のレビびとは神の家のもろもろの室と宝とをつかさどった。
27彼らは神の家を守る身であるから、そのまわりに宿った。そして朝ごとにこれを開くことをした。
28そのうちに務の器をつかさどる者があった。彼らはその数を調べて携え入り、またその数を調べて携え出した。
29またそのほかの品、すべての聖なる器および麦粉、ぶどう酒、油、乳香、香料をつかさどる者があった。
30また祭司のともがらのうちに香料を混ぜる者があった。
31コラびとシャルムの長子でレビびとのひとりであるマタテヤはせんべいを造る勤めをつかさどった。
32またコハテびとの子孫であるその兄弟たちのうちに供えのパンをつかさどって、安息日ごとにこれを整える者どもがあった。
33レビびとの氏族の長であるこれらの者は歌うたう者であって、宮のもろもろの室に住み、ほかの務はしなかった。彼らは日夜自分の務に従ったからである。
34これらはレビびとの歴代の氏族の長であって、かしらたる人々であった。彼らはエルサレムに住んだ。

歴代誌第一 15

1ダビデはダビデの町のうちに自分のために家を建て、また神の箱のために所を備え、これがために幕屋を張った。
2ダビデは言った、「神の箱をかくべき者はただレビびとのみである。主が主の箱をかかせ、また主に長く仕えさせるために彼らを選ばれたからである」。
3ダビデは主の箱をこれがために備えた所にかき上るため、イスラエルをことごとくエルサレムに集めた。
4ダビデはまたアロンの子孫とレビびとを集めた。
5すなわち、コハテの子孫のうちからはウリエルを長としてその兄弟百二十人、
6メラリの子孫のうちからはアサヤを長としてその兄弟二百二十人、
7ゲルショムの子孫のうちからはヨエルを長としてその兄弟百三十人

、
8エリザパンの子孫のうちからはシマヤを長としてその
兄弟二百人、
9ヘブロンの子孫のうちからはエリエルを長としてその
兄弟八十人、
10ウジエルの子孫のうちからはアミナダブを長としてその
兄弟百十二人である。
11ダビデは祭司ザドクとアビヤタル、およびレビびとウリ
エル、アサヤ、ヨエル、シマヤ、エリエル、アミナダ
ブを召し、
12彼らに言った、「あなたがたはレビびとの氏族の長であ
る。あなたがたとあなたがたの兄弟はともに身を清
め、イスラエルの神、主の箱を私がそのために備えた
所にかき上りなさい。
13さきにこれをかいた者があなたがたでなかったので、わ
れわれの神、主はわれわれを撃たれました。これはわ
れわれがその定めにしたがってそれを扱わなかったか
らです」。
14そこで祭司たちとレビびとたちはイスラエルの神、主の
箱をかき上るために身を清め、
15レビびとたちはモーセが主の言葉にしたがって命じたよ
うに、神の箱をさおをもって肩にになった。
16ダビデはまたレビびとの長たちに、その兄弟たちを選ん
で歌うたう者となし、立琴と琴とシンバルなどの楽器
を打ちはやし、喜びの声をあげることを命じた。
17そこでレビびとはヨエルの子ヘマンと、その兄弟ベレキ
ヤの子アサフおよびメラリの子孫である彼らの兄弟ク
シャヤの子エタンを選んだ。
18またこれに次ぐその兄弟たちがこれと共にいた。すなわ
ちゼカリヤ、ヤジエル、セミラモテ、エイエル、ウン
ニ、エリアブ、ベナヤ、マアセヤ、マッタテヤ、エリ
ペレホ、ミクネヤおよび門を守る者オベデ・エドムと
エイエル。
19歌うたう者ヘマン、アサフおよびエタンは青銅のシンバ
ルを打ちはやす者であった。
20ゼカリヤ、アジエル、セミラモテ、エイエル、ウンニ、
エリアブ、マアセヤ、ベナヤはアラモテにしたがって
立琴を奏する者であった。
21しかしマッタテヤ、エリペレホ、ミクネヤ、オベデ・エ
ドム、エイエル、アザジヤはセミニテにしたがって琴
をもって指揮する者であった。
22ケナニヤはレビびとの楽長で、音楽に通じていたので、
これを指揮した。
23ベレキヤとエルカナは箱のために門を守る者であった。
24祭司シバニヤ、ヨシャパテ、ネタネル、アマサイ、ゼカ
リヤ、ベナヤ、エリエゼルらは神の箱の前でラッパを
吹き、オベデ・エドムとエヒアは箱のために門を守る
者であった。
25ダビデとイスラエルの長老たちおよび千人の長たちは行
って、オベデ・エドムの家から主の契約の箱を喜び勇
んでかき上った。
26神が主の契約の箱をかくレビびとを助けられたので、彼
らは雄牛七頭、雄羊七頭をささげた。
27ダビデは亜麻布の衣服を着ていた。箱をかくすべてのレ
ビびとは、歌うたう者、音楽をつかさどるケナニヤも
同様である。ダビデはまた亜麻布のエポデを着てい
た。
28こうしてイスラエルは皆、声をあげ、角笛を吹きなら
し、ラッパと、シンバルと、立琴と琴をもって打ちは
やして主の契約の箱をかき上った。
29主の契約の箱がダビデの町にはいったとき、サウルの娘
ミカルが窓からながめ、ダビデ王の舞い踊るのを見
て、心のうちに彼をいやしめた。

16.

1人々は神の箱をかき入れて、ダビデがそのために張った
幕屋のうちに置き、そして燔祭と酬恩祭を神の前にさ
さげた。
2ダビデは燔祭と酬恩祭をささげ終えたとき、主の名をも
って民を祝福し、
3イスラエルの人々に男にも女にもおのおのパン一つ、肉
一切れ、干ぶどう一かたまりを分け与えた。
4ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者
を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほ
めたたえさせた。
5楽長はアサフ、その次はゼカリヤ、エイエル、セミラモ
テ、エヒエル、マッタテヤ、エリアブ、ベナヤ、オベ
デ・エドム、エイエルで、彼らは立琴と琴を弾じ、ア
サフはシンバルを打ち鳴らし、
6祭司ベナヤとヤハジエルは神の契約の箱の前でつねにラ
ッパを吹いた。
7その日ダビデは初めてアサフと彼の兄弟たちを立てて、
主に感謝をささげさせた。
8主に感謝し、そのみ名を呼び、
そのみわざをもろもろの民の中に知らせよ。
9主にむかって歌え、主をほめ歌え。
そのもろもろのくすしきみわざを語れ。
10その聖なるみ名を誇れ。
どうか主を求める者の心が喜ぶように。
11主とそのみ力とを求めよ。
つねにそのみ顔をたずねよ。
14彼はわれわれの神、主にいます。
そのさばきは全地にある。
15主はとこしえにその契約をみこころにとめられる。
これはよろずよに命じられたみ言葉であって、
16アブラハムと結ばれた契約、
イサクに誓われた約束である。
17主はこれを堅く立ててヤコブのために定めとし、
イスラエルのためにとこしえの契約として、
18言われた、「あなたにカナンの地を与えて、
あなたがたの受ける嗣業の分け前とする」と。
19その時、彼らの数は少なくて、
数えるに足らず、かの国で旅びととなり、
20国から国へ行き、
この国からほかの民へ行った。
21主は人の彼らをしえたげるのをゆるされず、
彼らのために王たちを懲しめて、
22言われた、「わが油そそがれた者たちに
さわってはならない。
わが預言者たちに害を加えてはならない」と。
23全地よ、主に向かって歌え。
日ごとにその救を宣べ伝えよ。
24もろもろの国の中にその栄光をあらわし、
もろもろの民の中にくすしきみわざをあらわせ。
25主は大いなるかたにいまして、
いとほめたたうべき者、
もろもろの神にまさって、恐るべき者だからである。
26もろもろの民のすべての神はむなしい。
しかし主は天を造られた。
27誉と威厳とはその み前にあり、
力と喜びとはその聖所にある。
28もろもろの民のやからよ、主に帰

せよ、
栄光と力とを主に帰せよ。
29そのみ名にふさわしい栄光を主に帰せよ。
供え物を携えて主のみ前にきたれ。
聖なる装いをして主を拝め。
30全地よ、そのみ前におののけ。
世界は堅く立って、動かされることはない。
31天は喜び、地はたのしみ、
もろもろの国民の中に言え、「主は王であられる」と。
32海とその中に満つるものとは鳴りどよめき、
田畑とその中のすべての物は喜べ。
33そのとき林のもろもろの木も主のみ前に喜び歌う。
主は地をさばくためにこられるからである。
34主に感謝せよ、主は恵みふかく、
そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。
35また言え、「われわれの救の神よ、われわれを救い、
もろもろの国民の中から
われわれを集めてお救いください。
そうすればあなたの聖なるみ名に感謝し、
あなたの誉を誇るでしょう。
36イスラエルの神、主は、
とこしえからとこしえまでほむべきかな」と。
その時すべての民は「アァメン」と言って主をほめたたえた。
37ダビデはアサフとその兄弟たちを主の契約の箱の前にとめおいて、常に箱の前に仕え、日々のわざを行わせた。
38オベデ・エドムとその兄弟たちは合わせて六十八人である。またエドトンの子オベデ・エドムおよびホサは門守であった。
39祭司ザドクとその兄弟である祭司たちはギベオンにある高き所で主の幕屋の前に仕え、
40主がイスラエルに命じられた律法にしるされたすべてのことにしたがって燔祭の壇の上に朝夕たえず燔祭を主にささげた。
41また彼らとともにヘマン、エドトンおよびほかの選ばれて名をしるされた者どもがいて、主のいつくしみの世々限りなきことについて主に感謝した。
42すなわちヘマンおよびエドトンは彼らとともにいて、ラッパ、シンバルおよびその他の聖歌のための楽器をとって音楽を奏し、エドトンの子らは門を守った。
43こうして民は皆おのおの家に帰り、ダビデはその家族を祝福するために帰って行った。

歴代誌第一 23

1ダビデは老い、その日が満ちたので、その子ソロモンをイスラエルの王とした。
2ダビデはイスラエルのすべてのつかさおよび祭司とレビびとを集めた。
3レビびとの三十歳以上のものを数えると、その男の数が三万八千人あった。
4ダビデは言った、「そのうち二万四千人は主の家の仕事をつかさどり、六千人はつかさびと、およびさばきびととなり、
5四千人は門を守る者となり、また四千人はさんびのために私の造った楽器で主をたたえよ」。

24:1-27:細み分け・・・このあと主の家を建てる話しになる。

歴代誌第一 23

24これらはその氏族によるレビの子孫であって、その人数が数えられ、その名がしるされて、主の家の務をなした二十歳以上の者で、氏族の長であった。
25ダビデは言った、「イスラエルの神、主はその民に平安を与え、ながくエルサレムに住まわれる。
26レビびとは重ねて幕屋およびその勤めの器物をかつぐことはない。
27――ダビデの最後の言葉によって、レビびとは二十歳以上の者が数えられた――
28彼らの務はアロンの子孫を助けて主の家の働きをし、庭とへやの仕事およびすべての聖なるものを清めること、そのほか、すべて神の家の働きをすることである。
29また供えのパン、素祭の麦粉、種入れぬ菓子、焼いた供え物、油をまぜた供え物をつかさどり、またすべて分量および大きさを量ることをつかさどり、
30また朝ごとに立って主に感謝し、さんびし、夕にもまたそのようにし、
31また安息日と新月と祭日に、主にもろもろの燔祭をささげるときは、絶えず主の前にその命じられた数にしたがってささげなければならない。
32このようにして彼らは会見の幕屋と聖所の務を守り、主の家の働きのためにその兄弟であるアロンの子らに仕えなければならない」。

歴代誌第一 25

1ダビデと軍の長たちはまたアサフ、ヘマンおよびエドトンの子らを勤めのために分かち、琴と、立琴と、シンバルをもって預言する者にした。その勤めをなした人々の数は次のとおりである。
2アサフの子たちはザックル、ヨセフ、ネタニヤ、アサレラであって、アサフの指揮のもとに王の命によって預言した者である。
3エドトンについては、エドトンの子たちはゲダリヤ、ゼリ、エサヤ、ハシャビヤ、マッタテヤの六人で、琴をもって主に感謝し、かつほめたたえて預言したその父エドトンの指揮の下にあった。
4ヘマンについては、ヘマンの子たちはブッキヤ、マッタニヤ、ウジエル、シブエル、エレモテ、ハナニヤ、ハナニ、エリアタ、ギダルテ、ロマムテ・エゼル、ヨシベカシャ、マロテ、ホテル、マハジオテである。
5これらは皆、神がご自身の約束にしたがって高くされた王の先見者 ヘマンの子たちであった。神はヘマンに男の子十四人、女の子三人を与えられた。
6これらの者は皆その父の指揮の下にあって、主の宮で歌をうたい、シンバルと立琴と琴をもって神の宮の務をした。アサフ、エドトンおよびヘマンは王の命の下にあった。
7彼らおよび主に歌をうたうことのために訓練され、すべて熟練した兄弟たちの数は二百八十八人であった。
8彼らは小なる者も、大なる者も、教師も生徒も皆ひとしくその務のためにくじを引いた。

歴代誌第二 5

1こうしてソロモンは主の宮のためにしたすべての工事を終った。そしてソロモンは父ダビデがささげた物、すなわち金銀およびもろもろの器物を携えて行って神

25

1ダビデと軍の長たちはまたアサフ、ヘマンおよびエドトンの子らを勤めのために分かち、琴と、立琴と、シンバルをもって預言する者にした。その勤めをなした人々の数は次のとおりである。
2アサフの子たちはザックル、ヨセフ、ネタニヤ、アサレラであって、アサフの指揮のもとに王の命によって預言した者である。
3エドトンについては、エドトンの子たちはゲダリヤ、ゼリ、エサヤ、ハシャビヤ、マッタテヤの六人で、琴をもって主に感謝し、かつほめたたえて預言したその父エドトンの指揮の下にあった。
4ヘマンについては、ヘマンの子たちはブッキヤ、マッタニヤ、ウジエル、シブエル、エレモテ、ハナニヤ、ハナニ、エリアタ、ギダルテ、ロマムテ・エゼル、ヨシベカシャ、マロテ、ホテル、マハジオテである。
5これらは皆、神がご自身の約束にしたがって高くされた王の先見者ヘマンの子たちであった。神はヘマンに男の子十四人、女の子三人を与えられた。
6これらの者は皆その父の指揮の下にあって、主の宮で歌をうたい、シンバルと立琴と琴をもって神の宮の務をした。アサフ、エドトンおよびヘマンは王の命の下にあった。
7彼らおよび主に歌をうたうことのために訓練され、すべて熟練した兄弟たちの数は二百八十八人であった。
8彼らは小なる者も、大なる者も、教師も生徒も皆ひとしくその務のためにくじを引いた。

9第一のくじはアサフのためにヨセフに当り、第二はゲダリヤに当った。彼とその兄弟たちおよびその子たち、合わせて十二人。
10第三はザックルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
11第四はイズリに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
12第五はネタニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
13第六はブッキヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
14第七はアサレラに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
15第八はエサヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
16第九はマッタニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
17第十はシメイに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
18第十一はアザリエルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
19第十二はハシャビヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
20第十三はシュバエルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
21第十四はマッタテヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
22第十五はエレモテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
23第十六はハナニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
24第十七はヨシベカシャに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
25第十八はハナニに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
26第十九はマロテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
27第二十はエリアタに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
28第二十一はホテルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
29第二十二はギダルテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
30第二十三はマハジオテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。
31第二十四はロマムテ・エゼルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人であった。

の宮の宝蔵に納めた。
2ソロモンは主の契約の箱をダビデの町シオンからかつぎ上ろうとして、イスラエルの長老たちと、すべての部族のかしらたちと、イスラエルの人々の氏族の長たちをエルサレムに召し集めた。
3イスラエルの人々は皆七月の祭に王のもとに集まった。
4イスラエルの長老たちが皆きたので、レビびとたちは箱を取り上げた。
5彼らは箱と、会見の幕屋と、幕屋にあるすべて聖なる器をかつぎ上った。すなわち祭司とレビびとがこれらの物をかつぎ上った。
6ソロモン王および彼のもとに集まったイスラエルの会衆は皆箱の前で羊と牛をささげたが、その数が多くて、調べることも数えることもできなかった。
7こうして祭司たちは主の契約の箱をその場所にかつぎ入れ、宮の本殿である至聖所のうちのケルビムの翼の下に置いた。
8ケルビムは翼を箱の所の上に伸べていたので、ケルビムは上から箱とそのさおをおおった。
9さおは長かったので、さおの端が本殿の前の聖所から見えた。しかし外部には見えなかった。さおは今日までそこにある。
10箱の内には二枚の板のほか何もなかった。これはイスラエルの人々がエジプトから出て来たとき、主が彼らと契約を結ばれ、モーセがホレブでそれを納めたものである。
11そして祭司たちが聖所から出たとき（ここにいた祭司たちは皆、その組の順にかかわらず身を清めた。
12またレビびとの歌うたう者、すなわちアサフ、ヘマン、エドトンおよび彼らの子たちと兄弟たちはみな亜麻布を着、シンバルと、立琴と、琴をとって祭壇の東に立ち、百二十人の祭司は彼らと一緒に立ってラッパを吹いた。
13ラッパ吹く者と歌うたう者とは、ひとりのように声を合わせて主をほめ、感謝した）、そして彼らがラッパと、シンバルとその他の楽器をもって声をふりあげ、主をほめて「主は恵みあり、
そのあわれみはとこしえに絶えることがない」
と言ったとき、雲はその宮すなわち主の宮に満ちた。
14祭司たちは雲のゆえに立って勤めをすることができなかった。主の栄光が神の宮に満ちたからである。

歴代誌第二8

12ソロモンは廊の前に築いておいた主の祭壇の上で主に燔祭をささげた。
13すなわちモーセの命令に従って、毎日定めのようにささげ、安息日、新月および年に三度の祭、すなわち種入れぬパンの祭、七週の祭、仮庵の祭にこれをささげた。
14ソロモンは、その父ダビデのおきてに従って、祭司の組を定めてその職に任じ、またレビびとをその勤めに任じて、毎日定めのように祭司の前でさんびと奉仕をさせ、また門を守る者に、その組にしたがって、もろもろの門を守らせた。これは神の人ダビデがこのように命じたからである。
15祭司とレビびとはすべての事につき、また倉の事について、王の命令にそむかなかった。

歴代誌第二20

1この後モアブびと、アンモンびとおよびメウニびとらがヨシャパテと戦おうと攻めてきた。
2その時ある人がきて、ヨシャパテに告げて言った、「海のかなたのエドムから大軍があなたに攻めて来ます。見よ、彼らはハザゾン・タマル（すなわちエンゲデ）にいます」。
3そこでヨシャパテは恐れ、主に顔を向けて助けを求め、ユダ全国に断食をふれさせた。
4それでユダはこぞって集まり、主の助けを求めた。すなわちユダのすべての町から人々が来て主を求めた。
5そこでヨシャパテは主の宮の新しい庭の前で、ユダとエルサレムの会衆の中に立って、
6言った、「われわれの先祖の神、主よ、あなたは天にいます神ではありませんか。異邦人のすべての国を治められるではありませんか。あなたの手には力があり、勢いがあって、あなたに逆らいうる者はありません。
7われわれの神よ、あなたはこの国の民をあなたの民イスラエルの前から追い払って、あなたの友アブラハムの子孫に、これを永遠に与えられたではありませんか。
8彼らはここに住み、あなたの名のためにここに聖所を建てて言いました、
9『つるぎ、審判、疫病、ききんなどの災がわれわれに臨む時、われわれはこの宮の前に立って、あなたの前におり、その悩みの中であなたに呼ばわります。するとあなたは聞いて助けられます。あなたの名はこの宮にあるからです』と。
10今アンモン、モアブ、およびセイル山の人々をごらんなさい。昔イスラエルがエジプトの国から出てきた時、あなたはイスラエルに彼らを侵すことをゆるされなかったので、イスラエルは彼らを離れて、滅ぼしませんでした。
11彼らがわれわれに報いるところをごらんください。彼らは来て、あなたがわれわれに賜わったあなたの領地からわれわれを追い払おうとしています。
12われわれの神よ、あなたは彼らをさばかれないのですか。われわれはこのように攻めて来る大軍に当る力がなく、またいかになすべきかを知りません。ただ、あなたを仰ぎ望むのみです」。
13ユダの人々はその幼な子、その妻、および子供たちと共に皆主の前に立っていた。
14その時主の霊が会衆の中でアサフの子孫であるレビびとヤハジエルに臨んだ。ヤハジエルはゼカリヤの子、ゼカリヤはベナヤの子、ベナヤはエイエルの子、エイエルはマッタニヤの子である。
15ヤハジエルは言った、「ユダの人々、エルサレムの住民、およびヨシャパテ王よ、聞きなさい。主はあなたがたにこう仰せられる、『この大軍のために恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戦いではなく、主の戦いだからである。
16あす、彼らの所へ攻め下りなさい。見よ、彼らはヂヅの坂から上って来る。あなたがたはエルエルの野の東、谷の端でこれに会うであろう。
17この戦いには、あなたがたは戦うに及ばない。ユダおよびエルサレムよ、あなたがたは進み出て立ち、あなたがたと共におられる主の勝利を見なさい。恐れてはならない。おののいてはならない。あす、彼らの所に攻めて行きなさい。主はあなたがたと共におられるからである』」。
18ヨシャパテは地にひれ伏した。ユダの人々およびエルサ

レムの民も主の前に伏して、主を拝した。
19その時コハテびとの子孫、およびコラびとの子孫であるレビびとが立ち上がり、大声をあげてイスラエルの神、主をさんびした。
20彼らは朝早く起きてテコアの野に出て行った。その出て行くとき、ヨシャパテは立って言った、「ユダの人々およびエルサレムの民よ、私に聞きなさい。あなたがたの神、主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。主の預言者を信じなさい。そうすればあなたがたは成功するでしょう」。
21彼はまた民と相談して人々を任命し、聖なる飾りを着けて軍勢の前に進ませ、主に向かって歌をうたい、かつさんびさせ、「主に感謝せよ、
そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」
と言わせた。
22そして彼らが歌をうたい、さんびし始めた時、主は伏兵を設け、かのユダに攻めてきたアンモン、モアブ、セイル山の人々に向かわせられたので、彼らは打ち敗られた。
23すなわちアンモンとモアブの人々は立ち上がって、セイル山の民に敵し、彼らを殺して全く滅ぼしたが、セイルの民を殺し尽すに及んで、彼らもおのおの互に助けて滅ぼしあった。
24ユダの人々は野の物見やぐらへ行って、かの群衆を見たが、地に倒れた死体だけであって、ひとりものがれた者はなかった。
25それでヨシャパテとその民は彼らの物を奪うために来て見ると、多数の家畜、財宝、衣服および宝石などおびただしくあったので、おのおのそれをはぎ取ったが、運びきれないほどたくさんで、かすめ取るに三日もかかった。
26四日目に彼らはベラカの谷に集まり、その所で主を祝福した。それでその所の名を今日までベラカの谷と呼んでいる。
27そしてユダとエルサレムの人々は皆ヨシャパテを先に立て、喜んでエルサレムに帰ってきた。主が彼らにその敵のことによって喜びを与えられたからである。
28すなわち彼らは立琴、琴およびラッパをもってエルサレムの主の宮に来た。
29そしてもろもろの国の民は主がイスラエルの敵と戦われたことを聞いて神を恐れた。
30こうして神が四方に安息を賜わったので、ヨシャパテの国は穏やかであった。
31このようにヨシャパテはユダを治めた。彼は三十五歳の時、王となり、二十五年の間エルサレムで世を治めた。彼の母の名はアズバといってシルヒの娘である。
32ヨシャパテは父アサの道を歩んでそれを離れず、主の目に正しいと見られることを行った。
33しかし高き所は除かず、また民はその先祖の神に心を傾けなかった。
34ヨシャパテのその他の始終の行為は、ハナニの子エヒウの書にしるされ、イスラエルの列王の書に載せられてある。

歴代誌第二29

1ヒゼキヤは王となった時二十五歳で、二十九年の間エルサレムで世を治めた。その母はアビヤと言って、ゼカリヤの娘である。
2ヒゼキヤは父ダビデがすべてなしたように主の良しと見られることをした。
3彼はその治世の第一年の一月に主の宮の戸を開き、かつこれを繕った。
4彼は祭司とレビびとを連れていって、東の広場に集め、
5彼らに言った、「レビびとよ、聞きなさい。あなたがたは今、身を清めて、あなたがたの先祖の神、主の宮を清め、聖所から汚れを除き去りなさい。
6われわれの先祖は罪を犯し、われわれの神、主の悪と見られることを行って、主を捨て、主のすまいに顔をそむけ、うしろを向けた。
7また廊の戸を閉じ、ともしびを消し、聖所でイスラエルの神に香をたかず、燔祭をささげなかった。
8それゆえ、主の怒りはユダとエルサレムに臨み、あなたがたが目に見るように、主は彼らを恐れと驚きと物笑いにされた。
9見よ、われわれの父たちはつるぎにたおれ、われわれのむすこたち、むすめたち、妻たちはこれがために捕虜となった。
10今私は、イスラエルの神、主と契約を結ぶ志をもっている。そうすればその激しい怒りは、われわれを離れるであろう。
11わが子らよ、今は怠ってはならない。主はあなたがたを選んで、主の前に立って仕えさせ、ご自分に仕える者となし、また香をたく者とされたからである」。
12そこでレビびとは立ち上がった。すなわちコハテびとの子孫のうちでは、アマサイの子マハテおよびアザリヤの子ヨエル。メラリの子孫では、アブデの子キシおよびエハレレルの子アザリヤ。ゲルションびとのうちでは、ジンマの子ヨアおよびヨアの子エデン。
13エリザパンの子孫のうちでは、シムリとエイエル。アサフの子孫のうちでは、ゼカリヤとマッタニヤ。
14ヘマンの子孫のうちでは、エヒエルとシメイ。エドトンの子孫のうちでは、シマヤとウジエルである。
15彼らはその兄弟たちを集めて身を清め、主の言葉による王の命令に従って、主の宮を清めるためにはいって来た。
16祭司たちが主の宮の奥にはいってこれを清め、主の宮にあった汚れた物をことごとく主の宮の庭に運び出すと、レビびとはそれを受けて外に出し、キデロン川に持って行った。
17彼らは正月の元日に清めることを始めて、その月の八日に主の宮の廊に達した。それから主の宮を清めるのに八日を費し、正月の十六日にこれを終った。
18そこで彼らはヒゼキヤ王の所へ行って言った、「われわれは主の宮をことごとく清め、また燔祭の壇とそのすべての器物、および供えのパンの机とそのすべての器物とを清めました。
19またアハズ王がその治世に罪を犯して捨てたすべての器物をも整えて清めました。それらは主の祭壇の前にあります」。
20そこでヒゼキヤ王は朝早く起きいで、町のつかさたちを集めて、主の宮に上って行き、
21雄牛七頭、雄羊七頭、小羊七頭、雄やぎ七頭を引いてこさせ、国と聖所とユダのためにこれを罪祭とし、アロンの子孫である祭司たちに命じてこれを主の祭壇の上にささげさせた。
22すなわち、雄牛をほふると、祭司たちはその血を受けて祭壇にふりかけ、また雄羊をほふると、その血を祭壇にふりかけ、また小羊をほふると、その血を祭壇にふりかけた。

23そして罪祭の雄やぎを王と会衆の前に引いて来たので、
彼らはその上に手を置いた。
24そして祭司たちはこれをほふり、その血を罪祭として
祭壇の上にささげてイスラエル全国のために燔祭およ
びをした。これは王がイスラエル全国のために燔祭およ
び罪祭をささげることを命じたためである。
25王はまたレビびとを主の宮に置き、ダビデおよび王の
先見者ガドと預言者ナタンの命令に従って、これにシ
ンバル、立琴および琴をとらせた。これは主がその
預言者によって命じられたところである。
26こうしてレビびとはダビデの楽器をとり、祭司はラッパ
をとって立った。
27そこでヒゼキヤは燔祭を祭壇の上にささげることを命じ
た。燔祭をささげ始めた時、主の歌をうたい、ラッパ
を吹き、イスラエルの王ダビデの楽器をならし始め
た。
28そして会衆は皆礼拝し、歌うたう者は歌をうたい、ラッ
パ手はラッパを吹き鳴らし、燔祭が終るまですべてこ
のようであったが、
29ささげる事が終ると、王および彼と共にいた者はみな身
をかがめて礼拝した。
30またヒゼキヤ王およびつかさたちはレビびとに命じて、
ダビデと先見者アサフの言葉をもって主をさんびさせ
た。彼らは喜んでさんびし、頭をさげて礼拝した。
31その時、ヒゼキヤは言った、「あなたがたはすでに主に
仕えるために身を清めたのであるから、進みよって、
主の宮に犠牲と感謝の供え物を携えて来なさい」と。
そこで会衆は犠牲と感謝の供え物を携えて来た。また
志ある者は皆燔祭を携えて来た。
32会衆の携えて来た燔祭の数は雄牛七十頭、雄羊百頭、
小羊二百頭、これらは皆主に燔祭としてささげるもの
であった。
33また奉納物は牛六百頭、小羊三千頭であった。
34ところが祭司が少なくてその燔祭の物の皮を、はぎつく
すことができなかったので、その兄弟であるレビびと
がこれを助けて、そのわざをなし終え、その間に他の
祭司たちは身を清めた。これはレビびとが祭司たちよ
りも、身を清めることに、きちょうめんであったから
である。
35このほかおびただしい燔祭があり、また、酬恩祭の脂肪
および燔祭の灌祭もあった。こうして、主の宮の勤め
は回復された。
36この事は、にわかになされたけれども、神がこのように
民のために備えをされたので、ヒゼキヤおよびすべて
の民は喜んだ。

歴代誌第二35

1ヨシヤはエルサレムで主に過越の祭を行った。すなわち
正月の十四日に過越の小羊をほふらせ、
2祭司にその職務をとり行わせ、彼らを励まして主の宮の
務をさせ、
3また主の聖なる者となってすべてのイスラエルびとを教
えるレビびとに言った、「あなたがたはイスラエルの
王ダビデの子ソロモンの建てた宮に、聖なる箱を置き
なさい。再びこれを肩にになうに及ばない。あなたが
たの神、主およびその民イスラエルに仕えなさい。
4あなたがたはイスラエルの王ダビデの書、およびその子
ソロモンの書に基いて氏族にしたがい、その班によっ
て、みずから備えをなし、
5あなたがたの兄弟である民の人々の氏族の区分にしたが
って聖所に立ち、このためにレビびとの氏族の分が欠
けることのないようにしなさい。
6あなたがたは過越の小羊をほふり、身を清め、あなたが
たの兄弟のために備えをし、モーセが伝えた主の言葉
にしたがって行いなさい」。
7ヨシヤは、小羊および子やぎを民の人々に贈った。これ
は皆その所にいるすべての人のための過越の供え物で
あって、その数三万、また雄牛三千を贈った。それら
は王の所有から出したのである。
8そのつかさたちも民と祭司とレビびとに真心から贈っ
た。また神の宮のつかさたちヒルキヤ、ゼカリヤ、エ
ヒエルも小羊と子やぎ二千六百頭、牛三百頭を祭司に
与えて過越の供え物とした。
9またレビびとの長である人々すなわちコナニヤおよびそ
の兄弟シマヤ、ネタンエルならびにハシャビヤ、エイ
エル、ヨザバデなども小羊と子やぎ五千頭、牛五百頭
をレビびとに贈って過越の供え物とした。
10このように勤めのことが備わったので、王の命に従って
祭司たちはその持ち場に立ち、レビびとはその班に従
って仕え、
11やがて過越の小羊がほふられたので、祭司はその血を受
け取って注いだ。レビびとはその皮をはいだ。
12それから燔祭の物をとり分け、それを民の人々の氏族の
区分に従って渡し、主にささげさせた。これはモーセ
の書にしるされたとおりである。また牛をもこのよう
にした。
13そして定めに従って過越の小羊を火であぶり、その他の
聖なる供え物を深なべ、かま、浅なべなどに煮て、急
いですべての民の人々にくばった。
14その後、彼らは自分のためと、祭司たちのために備えを
した。アロンの子孫である祭司たちは、燔祭と脂肪を
ささげるのに忙しくて、夜になったからである。それ
でレビびとは自分たちのためと、アロンの子孫である
祭司たちのために備えたのである。
15アサフの子孫である歌うたう者たちは、ダビデ、アサ
フ、ヘマンおよび王の先見者エドトンの命に従ってそ
の持ち場におり、門衛たちはおのおの門にいて、その
職務を離れるに及ばなかった。兄弟であるレビびとが
彼らのために備えたからである。
16このようにその日、主の勤めの事がことごとく備わった
ので、ヨシヤ王の命に従って過越の祭を行い、主の
祭壇に燔祭をささげた。
17ここに来ていたイスラエルの人々は、そのとき過越の祭
を行い、また七日の間、種入れぬパンの祭を行った。
18預言者サムエルの日からこのかた、イスラエルでこのよ
うな過越の祭を行ったことはなかった。またイスラエ
ルの諸王のうちには、ヨシヤが、祭司、レビびと、な
らびにそこに来たユダとイスラエルのすべての人々、
およびエルサレムの住民と共に行ったような過越の祭
を行った者はひとりもなかった。
19この過越の祭はヨシヤの治世の第十八年に行われた。

エズラ記2

41歌うたう者は、アサフの子孫百二十八人。

エズラ記3

1こうしてイスラエルの人々はその町々に住んでいたが、七月になって、民はひとりのようにエルサレムに集まった。

2そこでヨザダクの子エシュアとその仲間の祭司たち、およびシャルテルの子ゼルバベルとその兄弟たちは立って、イスラエルの神の祭壇を築いた。これは神の人モーセの律法にしるされたところに従って、その上に燔祭をささげるためであった。

3彼らは国々の民を恐れていたので、祭壇をもとの所に設けた。そしてその上で燔祭を主にささげ、朝夕それをささげた。

4また、しるされたところに従って仮庵の祭を行い、おきてに従って、毎日ささぐべき数のとおりに、日々の燔祭をささげた。

5そしてその後は常燔祭、新月と主のすべて定められた祭とにささげる供え物および各自が主にささげる真心よりの供え物をささげた。

6すなわち七月一日から燔祭を主にささげることを始めたが、主の宮の基礎はまだすえられてなかった。

7そこで石工と木工に金を渡し、またシドンとツロの人々に食い物、飲み物および油を与えて、ペルシャ王クロスから得た許可に従って、レバノンからヨッパの海に香柏を運ばせた。

8さてエルサレムの神の宮に帰った次の年の二月に、シャルテルの子ゼルバベルとヨザダクの子エシュアはその兄弟である他の祭司、レビびとおよび捕囚からエルサレムに帰って来たすべての人々と共に工事を始め、二十歳以上のレビびとを立てて、主の宮の工事を監督させた。

9そこでユダの子孫であるエシュアとその子らおよびその兄弟、カデミエルとその子らは共に立って、神の宮で工事をなす者を監督した。ヘナダデの子らおよびレビびとの子らと、その兄弟たちもまた一緒であった。

10こうして建築者が主の宮の基礎をすえた時、祭司たちは礼服をつけてラッパをとり、アサフの子らであるレビびとはシンバルをとり、イスラエルの王ダビデの指令に従って主をさんびした。

11彼らは互に歌いあって主をほめ、かつ感謝し、「主はめぐみ深く、
そのいつくしみは
とこしえにイスラエルに絶えることがない」
と言った。そして民はみな主をさんびするとき、大声をあげて叫んだ。主の宮の基礎がすえられたからである。

12しかし祭司、レビびと、氏族の長である多くの人々のうちに、もとの宮を見た老人たちがあったが、今この宮の基礎のすえられるのを見た時、大声をあげて泣いた。また喜びのために声をあげて叫ぶ者も多かった。

13それで、人々は民の喜び叫ぶ声と、民の泣く声とを聞きわけることができなかった。民が大声に叫んだので、その声が遠くまで聞えたからである。

ネヘミヤ記11

15レビびとではハシュブの子シマヤで、ハシュブはアズリカムの子、アズリカムはハシャビヤの子、ハシャビヤはブンニの子である。

16またシャベタイおよびヨザバデがある。これらはレビびとのかしらであって、神の宮の外のわざをつかさどった。

17またミカの子マッタニヤがある。ミカはザブデの子、ザブデはアサフの子である。マッタニヤは祈の時に感謝の言葉を唱え始める者である。その兄弟のうちのバクブキヤは彼に次ぐ者であった。またシャンマの子アブダがある。シャンマはガラルの子、ガラルはエドトンの子である。

18聖都におるレビびとは合わせて二百八十四人であった。

19門衛では門を守るアックブ、タルモンおよびその兄弟たち合わせて百七十二人である。

20その他のイスラエルびと、祭司、レビびとたちは皆ユダのすべての町々にあって、おのおの自分の嗣業にとどまった。

21ただし宮に仕えるしもべたちはオペルに住み、ヂハおよびギシパが宮に仕えるしもべたちを監督していた。

22エルサレムにおるレビびとの監督はウジである。ウジはバニの子、バニはハシャビヤの子、ハシャビヤはマッタニヤの子、マッタニヤはミカの子である。ミカは歌うたう者なるアサフの子孫である。ウジは神の宮のわざを監督した。

23彼らについては王からの命令があって、歌うたう者に日々の定まった分を与えさせた。

24またユダの子ゼラの子孫であるメシザベルの子ペタヒヤは王の手に属して民に関するすべての事を取り扱った。

ネヘミヤ記12

8レビびとではエシュア、ビンヌイ、カデミエル、セレビヤ、ユダ、マッタニヤで、マッタニヤはその兄弟らと共に感謝のことをつかさどった。

ネヘミヤ記12

22レビびとについては、エリアシブ、ヨイアダ、ヨハナンおよびヤドアの時代に、その氏族の長たちが登録された。また祭司たちもペルシャ王ダリヨスの治世まで登録された。

23レビの子孫で氏族の長たる者は、エリアシブの子ヨハナンの世まで歴代志の書にしるされている。

24レビびとのかしらはハシャビヤ、セレビヤおよびカデミエルの子エシュアであって、その兄弟たち相向かい合い、組と組と対応して神の人ダビデの命令に従い、さんびと感謝をささげた。

25マッタニヤ、バクブキヤ、オバデヤ、メシュラム、タルモンおよびアックブは門を守る者で門の内の倉を監督した。

26これらはヨザダクの子エシュアの子ヨアキムの時代、また総督ネヘミヤおよび学者である祭司エズラの時代にいた人々である。

27さてエルサレムの城壁の落成式に当って、レビびとを、そのすべての所から招いてエルサレムにこさせ、感謝と、歌と、シンバルと、立琴と、琴とをもって喜んで落成式を行おうとした。

28そこで、歌うたう人々はエルサレムの周囲の地方、ネトパびとの村々から集まってきた。

29またベテギルガルおよびゲバとアズマウテの地方

からも集まってきた。この歌うたう者たちはエルサレムの周囲に自分の村々を建てていたからである。
30そして祭司とレビびとたちは身を清め、また民およびもろもろの門と城壁とを清めた。
31そこで私はユダのつかさたちを城壁の上にのぼらせ、また感謝する者の二つの大きな組を作って、行進させた。その一つは城壁の上を右に糞の門をさして進んだ。
32そのあとに従って進んだ者はホシャヤ、およびユダのつかさたちの半ば、
33ならびにアザリヤ、エズラ、メシュラム、
34ユダ、ベニヤミン、シマヤ、エレミヤであった。
35また数人の祭司がラッパをもって従った。すなわちヨナタンの子ゼカリヤ。ヨナタンはシマヤの子、シマヤはマッタニヤの子、マッタニヤはミカヤの子、ミカヤはザックルの子、ザックルはアサフの子である。
36またゼカリヤの兄弟たちシマヤ、アザリエル、ミラライ、ギラライ、マアイ、ネタンエル、ユダ、ハナニなどであって、神の人ダビデの楽器を持って従った。そして学者エズラは彼らの先に進んだ。
37彼らは泉の門を経て、まっすぐに進み、城壁の上り口で、ダビデの町の階段から上り、ダビデの家の上を過ぎて東の方、水の門に至った。
38他の一組の感謝する者は左に進んだ。私は民の半ばと共に彼らのあとに従った。そして城壁の上を行き、炉の望楼の上を過ぎて、城壁の広い所に至り、
39エフライムの門の上を通り、古い門を過ぎ、魚の門およびハナネルの望楼とハンメアの望楼を過ぎて、羊の門に至り、近衛の門に立ち止まった。
40こうして二組の感謝する者は神の宮にはいって立った。私もそこに立ち、つかさたちの半ばも私と共に立った。
41また祭司エリアキム、マアセヤ、ミニヤミン、ミカヤ、エリオエナイ、ゼカリヤ、ハナニヤらはラッパを持ち、
42マアセヤ、シマヤ、エレアザル、ウジ、ヨハナン、マルキヤ、エラムおよびエゼルも共にいた。そして歌うたう者たちは声高く歌った。エズラヒヤはその監督であった。
43こうして彼らはその日、大いなる犠牲をささげて喜んだ。神が彼らを大いに喜び楽しませられたからである。女子供までも喜んだ。それでエルサレムの喜びの声は遠くまで聞えた。
44その日、倉のもろもろのへやをつかさどる人々を選び、ささげ物、初物、十分の一など律法の定めるところの祭司およびレビびとの分を町々の田畑にしたがって取り集めて、へやに入れることをつかさどらせた。これは祭司およびレビびとの仕えるのを、ユダびとが喜んだからである。
45彼らはダビデおよびその子ソロモンの命令に従って、神の勤めおよび清め事の勤めをした。歌うたう者および門を守る者もそのように行った。
46昔ダビデおよびアサフの日には、歌うたう者のかしらがひとりいて、神にさんびと感謝をささげる事があった。
47またゼルバベルの日およびネヘミヤの日には、イスラエルびとはみな歌うたう者と門を守る者に日々の分を与え、またレビびとに物を聖別して与え、レビびとはまたこれを聖別してアロンの子孫に与えた。